

さいたま市中央区

株式会社コッコト

設立：2008年(平成20年)9月

事業内容：営業支援・事務代行サービス、イベント・セミナー企画運営、
女性支援事業、各種コンサルティングサービス 他

従業員数：2名(パート18名) 登録スタッフ数150名

ホームページ：<http://coccoto.jp> (個人向け)

<http://powerwomen.jp> (企業向け)



「コッコト」は東北弁で子どものこと。「ト」は一緒にという意味。
子どもと一緒に成長しよう、という願いを社名に込めました」
(宮本直美代表)

“ママの働きたい”を応援し、実現したい。 そんな想いで“在宅型派遣”のコッコトを設立しました。

コッコト設立の動機となった“心残り”

「以前勤めていた会社で、同じ経理の仕事を担当していたお子さんのいらっしゃる女性社員が退職されました。私は経理チームのリーダー的存在だったのですが、そのことが心残りでいつまでもしこりのように残っていました」とおっしゃるのは、(株)コッコトの代表、宮本直美さんです。その方は、多忙期に子どもの都合で仕事を休みがちになり、職場の仲間に迷惑をかけたくないとの気持ちからの退職でした。「結果として、私たちが辞めさせちゃったのになって」。この苦い“心残り”が、やがてコッコト設立の動機につながっていくことになります。

会社に9年間勤務した宮本さんは、出産を契機に退職。「仕事を離れ、少しのんびりしたい」との想いからでした。「でも、しばらくするとエネルギーをムダに使っているな、という想いかられるようになりました」。そこで、どこかの組織に所属するのではなく、個人事業主として経理の仕事などをポツポツ引き受け始めたのだといいます。

「その頃になると、仕事を辞めたママさんの知り合いがたくさんできていました。しかも、私と同じようにエネルギーを持って余している方が意外と多いんです(笑)。だったら、企業に就職せずに子育てしながら働ける“受け皿”を作れないだろうか、と考えるようになったんです」。

“在宅型派遣”という働き方

「子育てや家事は自分が担当したい」。でも、「仕事もしたい」というママさんたちの想いをかなえるべく、宮本さんが導き出し答えが“在宅型派遣”という働き方でした。

「“在宅型派遣”とは、企業や店舗、個人のお客様から請け負った業務を、会員登録した方に自宅で作業してもらうという働き方です。雇用されず、時間で管理されない働き方ですから、誰かに気兼ねすることなく子育てしながら自分のキャパシティに応じて仕事ができるというわけです」。こうして、“在宅型派遣”を実現する会社として設立されたのが、(株)コッコトです。

当初、登録会員20人でスタートした同社でしたが、“在宅型派遣”の考え方に共感するママさんたちは多く、また、請負業務の増加からいまでは登録会員は150名に上ります。「会員が増えれば、知恵も集まります。ママさんパワーは皆さんが想像する以上ですよ」

今年に入り、会員が自宅にいながら会社のパソコン環境を利用できるシステムを新たに導入するなど、業務を効率的に行うための環境整備にも抜かりありません。

「コッコトの認知度を高めることはもちろんですが、会員の中からコッコトの会員をパワーに起業する人がたくさん出ればいいなと思っています」と宮本さんは微笑みます。



請け負う業務は、ネット店舗企画運営やWeb更新、企画書作成、市場調査といった営業支援からWeb作成、チラシ作成、事務代行など多彩。



昨年2月に開設した社内託児所。「子どもの預け先はママの一番の悩み。自分たちで上げた利益で託児所を運営するのは1つの目標でした(宮本さん)」



コッコトでは趣味の各種教室も主催しています。今年の6月からは経理やWeb関係、ライター養成などの実務講座も始めました。